

## 箱館戦争神社境内の戦い

明治元年10月24日(旧暦)早朝、箱館戦争神社境内の戦い(説明板)がありイチイの木に弾痕が見える。新政府軍は、鷲ノ木に上陸し



た榎本軍の南下を食い止めようと境内で守っていたが、榎本軍の攻勢に戦い敗れた。

ここでの新政府軍戦死者の墓が光明寺にある。

江戸時代には村が米など保存した郷倉、明治33年大野村役場、後の登記所なども在った。



おおの郷土史かるた

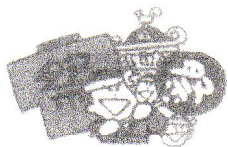
「熱血漢生命を  
かけた古戦場」

昭和に入って植えた並木スズカケノ木が一本残っている(説明板)。

かるたと紙芝居は郷土資料館で閲覧できる。

紙芝居

「大野と箱館戦争」



# 意富比神社

北斗市本町2-8-1  
77-8408

大野地区総鎮守意富比神社「祭神；天照大御神」(宮司小野清昭)



は明治以前までは「神明社」、「大日社」といわれ南向きだった。明治7年頃現在のように呼ばれるようになり、宮司が常勤となった。翌8年村民の寄付により壮大で美しい社ができあがった。

現在の社殿は大正10年の竣工である。順次改装し今に至っている。

稲荷社；境内には稲荷社があり3月8日、9月8日に稲荷祭が行われる。

忠魂碑；日露戦争戦没者を祀った忠魂碑(説明板)と太平洋戦争までの戦死者名を刻んだ碑も併せてたち、6月20日には平和祈念祭が行われる。